

絵画コンクールで審査員特別賞



社小学校1年生（現2年生）の荻田有登さんが、ディズニー映画『アークと少年』公開を記念した『もしも恐竜に出会えるなら』絵画コンクールで、1,493作品の中から審査員特別賞に輝きました。

コンクール出品の動機は、特別賞の副賞になっていた恐竜のフィギュア。恐竜が大好きな荻田さんは、「一生懸命絵を描いたので、できあがった時から、賞が取れると信じていました。フィギュアがもらえたことが一番うれしかったです」と喜んでいました。

年賀状大賞コンクールで奨励賞



三草保育園年長組（現小学1年生）の上月嘉人さんが、日本郵便主催の『全日本年賀状大賞コンクール』絵手紙部門で、9万2,170点の中から奨励賞に選ばれました。

年賀状に描いたのは富士山。「日本一の山だから」と、思い切りよく描いたとのこと。中学校で美術を教える母・佳子さんの影響もあって、上月さんは絵を描くことが大好き。「これからは動物をたくさん描いてみたいです」と話していました。

加東消防署・東条分署が移転



4月1日、加東消防署東条分署の移転による開庁式典が行われました。移転前の東条分署は、築40年を超え、老朽化が激しかったことから、市の旧東条庁舎別館を改修・増築した新庁舎に移転しました。式典で上田昌善消防長は「市民の安全安心のために精進する」と決意を示しました。

第12回全日本少年少女空手道選手権大会出場



市内の空手道場・拳武会館に通う14人から、全国大会出場前に表敬訪問をいただきました。滝野中学校の藤原あかりさんは「中学からは上の学年の人とも試合があり、今まで以上に強い相手も多いですが、しっかりポイントを入れて優勝したいです」と意気込んでいました。全国大会に出場されるのは次の方々です。

佐々木 漣（社小） 百田万穂（滝野東小）
 藤井瑛心（社小） 松本峯空（社小）
 篠原 光（福田小） 百田宗一郎（滝野東小）
 長井麗央奈（福田小） 梅田野乃果（兵教大附属小）
 佐々木蒼奈（社小） 沼田清虎（東条東小）
 西山すみれ（三草小） 小上詩央（兵教大附属小）
 藤崎珠友（滝野東小） 高瀬茉央（滝野東小）
 藤井勇心（社小） 藤原あかり（滝野中）（敬称略）

伝の助がご案内



滝野公民館横の案内看板が新しくなりました。設置していた看板の改修に伴い、市のマスコットキャラクター・加東伝の助をあしらった表記に一新。イラストは加東伝の助の作者・小稲 望さんによる書き下ろしです。滝野公民館へお立ち寄りの際は、かわいい伝の助の看板を、ぜひご覧ください。

100歳
おめでとう
ございます

小池貞子さん
（秋津）



桜舞う加東を快走



4月9日、市制10周年記念事業の第1弾として『たびーら SAKURA&SWEETS RIDE in かとう』を開催しました。このイベントは、千鳥川や東条川、やしろ鴨川の郷などの桜の名所や観光施設を自転車で巡りながら、三草茶うどん・やしろの桃ジェラートといった名物を味わう企画で、近畿圏内や中国・四国地方から108人のライダーが集まりました。

参加者は、経験などから13のグループに分かれ、市内約60キロのコースを楽しみながら、5か所の休憩所で加東市が誇る名物に舌鼓を打ちました。参加した京都市右京区の三木裕子さんは「近くにこんないいところがあったのかと驚いています。桜はまだ咲いていないところもあったので、来週も来て、楽しみたいと思います」と、満喫した様子でした。

女性目線の登山ガイドブック刊行



加東市・加西市・西脇市・多可町の観光協会が連携し、3市1町の圏域内にある12の山々を紹介した登山ガイドブック『のぼってみよう北はりま』を発行しました。『山ガール』と呼ばれブームとなっている女性登山客を北播磨に呼び込もうと、標高やコースなどの情報だけでなく、周辺の観光やグルメ情報なども併せて掲載。加東市の三草山・五峰山・加東神山を取り上げたこのガイドブックは、圏域内の道の駅や観光協会でも無料配布されています。

521人、意気軒昂



4月3日、市役所南駐車場で、加東市消防出初式を挙行了しました。永年勤続や日々の功績に対する表彰の後、主催者と来賓による観閲を実施。

一条乱れぬ整列や行進などから、消防団員のみさんの防災に臨む心意気が垣間見られました。

和やかな集いの場 地域主体で



3月26日、加東市天神の福祉施設・伽の里で、日の出安心地域サポートセンターのオープン記念カフェが開催されました。同センターは、高齢者が笑顔で暮らせる地域づくりのために発足した東条安心地区推進協議会が運営する地域交流の拠点で、伽の里から一部の施設の無償提供を受けて活動されています。

記念イベントでは、喫茶のほか、ギターの弾き語り、専門家による健康チェックなどが催され、地域の高齢者や家族連れでにぎわいました。推進協議会の石田和伸会長（新定）は「これからは、公的サービスだけでなく、住民同士・高齢者同士の助け合いがさらに重要になる時代。多くの人に利用してもらって、センターが地域互助の拠点になっていけばと思います」と話されました。

まちかど
トピックス
TOPICS

身近な話題など、お気軽にご連絡ください。
広報係がカメラを持って伺います。

☎43-0387